



場面設定がオーセンティックだと生徒はどんな反応をするのだろう？ 他校の単元ゴール 頂いちゃいましょう！！ 第1弾

本年度の「改善プランに係る学校訪問」も数校を残すのみとなりました。この訪問で先生方からよく聞こえてきた言葉に「場面設定が難しい。目的・場面・状況のアイデアがもう無い。生徒に自分事にさせられない…」などがありました。そんな中でその時々々の現状を活かして生徒達をやる気にさせ、生き生きと取り組ませていた単元ゴールを少し紹介します。



学校名	単元ゴール	「いいね」ポイント！
高岡中学校	新しく友達になったクラスメイトに、自分の意外な一面を知ってもらえるように、自己紹介をする。	♡6月下旬の設定。まだあまり知られていない自分の一面について「何を話そうかなあ」「これ言ったら驚くかなあ」「でも英語でどう言おうか」…とワクワクが高まり、思考が深まります。
葉山中学校	コロナ禍でもエンターテイナーとして活躍するあなたの好きな芸能人を世界中の人に向けて発信するために、20語程度の英語で紹介しよう。	♡SNS上では各国のファンが自分の「推し」について英語で盛んに交流しています。『私の推しの〇〇は……！』と英語で海外のファンと語り合えるようになってほしいです。
高知南中学校	ALTの先生の友達に「早速行ってみたい」と思ってもらえるような高知県のおすすめスポットや観光地についてのガイドブック紹介文を読み手にわかりやすく書く。	♡「早速行ってみたい」と思わせるには、定型文的な紹介では難しいところです。共感して読んでもらうにはどんな内容を、英語でどう表現すればいいのか考えずにはられません。
大川中学校	イギリスにいるジョージ先生の家族に（会えなくても）安心してもらえるように、私たちや大川村のことを英語で伝えよう。（動画を作成し、50語程度で手紙を書く）	♡コロナ禍で来高できなくなったジョージ先生のご家族に自分たちのことや学校の様子等を英語で一生懸命表現しメッセージを届けました。後日大変喜ばれたご家族から同じように手紙とビデオメッセージが届き、自分たちの思いや英語が通じたことに生徒達は大喜びだったそうです。

共通しているのは「何のために」その言語活動を行うのが単元ゴールの中に入っていることです。何について思考・判断・表現させるのか指導者に明確であることが単元を計画する上で重要です。さらに、それを生徒達にどう伝えるのか考える必要があります。この単元で何を学ぶのか、何ができるようになるのか、どこに向かって進んでいくのかを理解している生徒は自分から動き出します。目の前の生徒の実態に応じて何を思考・判断・表現させるのかきちんと生徒に伝わる言葉で共有する必要があります。

また、聞き手・読み手を誰に設定するのも悩みの一つです。ALTはもちろん、ALTのご家族、さらに（英語の授業の中での）クラスメイト、SNSの活用をイメージする等も参考になると思います。朝ヶ丘中学校授業づくり講座では、山田教科調査官が「将来の自分に向けて」等の例もあることを教えてくださいました。

場面をクリアにし、相手が誰かもクリアにする。どこに住んでいるか、どんなことを知りたいのか等、生徒にイメージがわく設定を。目的・場面・状況等がクリアになればなるほど子供は考える。思考力・判断力・表現力等が育成される。学力調査のような問題に対応できる力を育成するには言語活動を行うときに、目的・場面・状況を与える！

山田誠志教科調査官（香南中学校 授業づくり講座 R1.5.28 教材研究会より）



言語活動後の中間指導は指導者の悩みどころ・腕の見せ所。内容面と言語面での指導が求められます！多くの生徒が言語面でとても苦労しています。生徒のミスを活用して（本人承諾の下）可視化し、語彙や文法事項に気付かせる指導を行いましょ。生徒は混乱しながら、間違えながら身につけていきます。言語活動を通して何度も間違え、何度も気付くチャンスを与えましょ。